

### 誰もが生きやすい社会 を目指しましょう！

高山市政クラブ  
西田 稔



**問** 精神の障がい等のある方や社会に生きづらさを感じてひきこもりになりがちな人の中には、その程度により精神障害者保健福祉手帳の交付に至らず福祉サービスを受けられない人がいる。そういった人たちでも持続的にケアを受けられるシステムを構築すべきではないか。

**答** 就労支援などの障がい福祉サービスは福祉手帳を所持していなくても受けられる。今年度からは基幹相談支援センターを開設し、必要に応じてその人を訪問して悩みを聞いたり受診に付き添うなど、本人や家族に寄り添い、必要なサービスの提供に努めていく。



### 産後ケアの 補助について

高山市政クラブ  
榎 隆司



**問** 対応困難な症例により新生児が市内の病院で対応できない場合、岐阜方面などに移送される。移送され入院状態になった時、交通費などの通院負担に対し補助ができないか。また、産後ケアの支援内容で本人負担の軽減ができないか。

**答** 交通費などの補助については、実態及び課題の把握に努め、支援について検討していく。また、産後ケアについては、県内の他市では、自己負担が1割の市もあれば5割の市もある。おむね平均的な割合として3割の自己負担をお願いすることとした。現時点では割合を変更する予定はない。



### 生理用品の配置を トイレの個室へ

無会派  
上嶋 希代子



**問** コロナ禍での生活が続く中、小中学生の生活の必需品となっている生理用品は各学校のトイレに常設が進められている。子どもたちからは今の配置場所(掃除道具入れ)ではなくトイレの各個室への常設要望が届いている。この子どもたちの声に応えられないか。

**答** 市では小中学校の女子トイレに生理用品を設置することとしている。衛生的な問題もあるため、現在のところ、トイレの各個室設置までは考えていない。子どもたちの事情に対応するため保健室には、以前から常設しているので有効に活用されるよう働きかけていく。



### 市と教団及び名誉領事館 との関係は適切か

創政・改革クラブ  
倉田博之



**問** 火葬場は死生観と直結する精神性の高い施設。宗教団体の関与に生理的嫌悪感を示す市民は多い。市が用地寄付を教団に働きかけたなら大問題だ。

**答** 火葬場検討委からの確認依頼で、市は教団に打診し、検討委に報告しただけ。

**問** 市がウルバンバに寄贈し、相手も市に謝意を表したトラクターの財源は。

**答** 代金や運搬費を含め、名誉領事館のほうで準備した。

**問** 報告もなく取扱いが不適正。教団に売却した下水道施設の借入利息は、なぜ市民の負担か。

**答** どちらも可と確認し教団には請求しなかった。

**問** 採納事務規程を設け市の公明な姿勢を示せ。

**答** 宗教団体寄付の収受の是非を含め、現在検討中。



丹生川大宮橋補地  
アクセス道路  
(1/18 高山地域積雪0cm  
※維持課資料)